

基礎科目 <コア・イングリッシュ>	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
Pronunciation 204		13916	I	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
和泉 有香	選択	2	専門学校講師、社団法人国際英語発音協会理事		

授業の到達目標

日本語と特に違いの大きい子音と母音の発音に習熟し、相手に伝わりやすい発話ができることを目標とする。このクラスではKAISEI パーソナリティのI (知性) とIn (国際性) を涵養する。

授業の概要

英語音声に関する実践的訓練を行い、「伝わる」英語発音を目指す。

授業計画

- 1 ガイダンス、U1「口の中を意識する」、U2「英語らしい音」
- 2 U4「thankのth」、U5「thisのth」
- 3 U6「feelのf」、U17「appleのa」
- 4 U7「visitのv」、U18「upのu」
- 5 U8「rightのr」、U9「liveのl」
- 6 U19「birdのir」
- 7 U10「practiceのpr」、U20「carのar」
- 8 U11「playのpl」、中間考査
- 9 U12「rとl(応用編)」
- 10 U21「あいまいな母音」
- 11 U13「woodのw」、U22「lowのowとlawのaw」
- 12 U14「inのn」、U23「itのiとeatのea」
- 13 U15「singerのng」、U24「footのooとfoodのoo」
- 14 U16「まぎらわしい子音s,z,t」、Part 3の復習
- 15 Part 2の復習、期末考査

授業の方法

リズムと強勢を意識し、多くの演習と音読練習を行う。また練習と復習の成果をチェックするため毎回個人的に発音チェックを行う。

準備学修

Webで参照すること

課題・評価方法、その他

平常点50%、定期試験50%

欠席について

欠席1回につき、平常点と定期試験点より算出した評価点より2点減点する。

テキスト

静哲人著『発音入門 音トレーニングドリル』(アルク)

参考図書

授業時に必要に応じて紹介する。

留意事項

付属CD教材を用いて確実に復習すること。毎回、発音記号が記載されている英和辞書(紙版、電子版など)を必ず持参すること。

基礎科目 <コア・イングリッシュ>	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
Oral Communication 300		13917	II	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
David John SANDEMAN	必修	2			

授業の到達目標

The course will develop a sense of internationality and autonomy.

授業の概要

The purpose of this class is to develop both listening and speaking skills in a variety of situations. Some specific topics of discussion may include jobs, cultures, vacations, comedy, sports, feelings, and weather.

授業計画

- 1 Introduction
- 2 Unit 5 Food, 5.1 My fridge
- 3 5.2 A lifetime in numbers
- 4 5.3 Are you ready to order?
- 5 5.4 Beach Barbecue
- 6 Review
- 7 Presentations
- 8 Mid Term
- 9 Unit 6 The Past, 6.1 In their past
- 10 6.2 Time twins
- 11 6.3 What did you do?
- 12 6.4 Nelson Mandela
- 13 Review
- 14 Presentations
- 15 Presentations

授業の方法

Students will work individually, in pairs and in groups

準備学修

Be familiar with the textbook: preview and review

課題・評価方法、その他

Your final grade will be determined using the following scale:

Final Exam 20%
Tests and Quizzes 10%

Presentations 40%
Class Participation 20%
Homework 10%

欠席について

As stated in university guidelines, 100% attendance is expected for this course. If a student is unable to attend a class then the student must submit a "Notification of Exceptional Absence". If a student is absent for more than 1/3 of the course without the above notification then no credit will be given.

テキスト

Frances Eagles and Steve Oaks, SpeakOut: Elementary, 2nd edition. (Pearson)

参考図書

Will be assigned as needed

留意事項

Active participation is essential

基礎科目 <コア・イングリッシュ>	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
TOEIC/TOEFL 1		13822	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
和泉 有香	必修	2	著書執筆、専門学校講師、企業派遣講師		

授業の到達目標

TOEIC (R) Listening & Reading Test スコア500点到達を目指す。そのために必要な英語力（特にTOEIC必須表現）の習得と問題への取り組み方、学習のコツを身につける。またTOEFL受験のための基礎英語力強化を目指す。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）を養う。

授業の概要

到達目標を目指し、必須語彙や文法事項を身につけていく。類出文書ごとの語彙、言い回しに習熟し、TOEICテスト形式の問題演習を組み入れていく。また知識固定の一助とするため音読にも力を入れる。単語テストは基本的に毎回実施する。

授業計画

- 1 ガイダンス、Unit 9 Phone Calls
- 2 Unit 9 Phone Calls、単語テスト1
- 3 Unit 10 Construction & Landscaping、単語テスト2
- 4 Unit 10 Construction & Landscaping、単語テスト3
- 5 Unit 11 Personnel、単語テスト4
- 6 Unit 11 Personnel、単語テスト5
- 7 Unit 12 Business Ventures、単語テスト6
- 8 Unit 12 Business Ventures、単語テスト7
- 9 Unit 13 Media、単語テスト8
- 10 Unit 13 Media、単語テスト9
- 11 Unit 14 Entertainment、単語テスト10
- 12 Unit 14 Entertainment、単語テスト11
- 13 Unit 15 Publishing、単語テスト12
- 14 Unit 15 Publishing、単語テスト13
- 15 復習、期末考査

授業の方法

問題演習や音読、その場での暗記などの「作業」が中心となる。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点50%、定期試験50%

欠席について

欠席1回につき、平常点と定期試験点より算出した評価点から2点減点する。

テキスト

Smart Route to the TOEIC (C) L&R Test (Cengage Learning)、TOEIC L&R TEST出る単特急 金のフレーズ（朝日新聞出版）

参考図書

授業時に必要に応じて紹介する。

留意事項

・ダウンロード音声も用いて確実に復習すること。・英和辞書（紙版、電子辞書いずれでも可）を必ず持参すること。

基礎科目 <コア・イングリッシュ>	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
Pronunciation 304		13924	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
和泉 有香	選択	2	専門学校講師、社団法人国際英語発音協会理事		

授業の到達目標

日本語と特に違いの大きい子音と母音の発音に習熟し、正しいリズムと強勢を伴って相手に伝わりやすい発話ができることを目標とする。また正しい発音を身につけることによってリスニング力を向上させる。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）とIn（国際性）を涵養する。

授業の概要

英語音声に関する実践的訓練を行い、「伝わる」英語発音を目指す。

授業計画

- 1 ガイダンス、Program One 外国語学習法
- 2 Program One 外国語学習法
- 3 Program Two ついてない日
- 4 Program Two ついてない日
- 5 Program Three お気に入りの時間
- 6 Program Three お気に入りの時間
- 7 復習、中間考査
- 8 Program Four ジョーク集-1
- 9 Program Five さまざまなアナウンス
- 10 Program Six 禁煙
- 11 Program Seven 体形と体調の保ち方
- 12 Program Eight ジョーク集-2
- 13 Program Nine クリスマスプレゼント O・ヘンリー短編より
- 14 Program Nine クリスマスプレゼント O・ヘンリー短編より
- 15 総復習、期末考査
- 16

授業の方法

リズムと強勢を意識し、多くの演習と音読練習を行う。また練習と復習の成果をチェックするため毎回個人的に発音チェックを行う。

準備学修

Webで参照すること

課題・評価方法、その他

平常点50%、定期試験50%

欠席について

欠席1回につき、平常点と定期試験点より算出した評価点より2点減点する。

テキスト

森沢洋介著「みるみる英語力がアップする音読パッケージトレーニング」（ベレ出版）

参考図書

授業時に必要に応じて紹介する。

留意事項

付属CD教材を用いて確実に復習すること。毎回、発音記号が記載されている英和辞書（紙版、電子版など）を必ず持参すること。

基礎科目 <コア・イングリッシュ>	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
Writing 402		13929	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
David John SANDEMAN	必修	2			

授業の到達目標

In this class, students will develop a sense of internationality and autonomy.

授業の概要

Upon completion of this course, students will be able to: demonstrate increasing control of grammar, vocabulary, punctuation, and spelling skills, write a paragraph with adequate support, demonstrate increasing ability to recognize and write introductory, body, and concluding sentences, understand and utilize the writing process, explain a process, and write about spatial order, time order, and order of importance.

授業計画

- 1 Introduction
- 2 Unit 7 Classifying classmates
- 3 Unit 7 Classifying classmates
- 4 Unit 8 The job interview
- 5 Unit 8 The job interview
- 6 Unit 9 Personal goals
- 7 Unit 9 Personal goals
- 8 Mid Term
- 9 Unit 10 Architect
- 10 Unit 10 Architect
- 11 Unit 11 My role models
- 12 Unit 11 My role models
- 13 Unit 12 Be a reporter
- 14 Unit 12 Be a reporter
- 15 Review

授業の方法

Students will work in groups and individually

準備学修

Be familiar with the textbook: preview and review

課題・評価方法、その他

Your final grade will be determined using the following scale:

Final Report	20%
Tests and Quizzes	10%
Class Participation	20%
Homework	50%

欠席について

As stated in university guidelines, 100% attendance is expected for this course. If a student is unable to attend a class then the student must submit a "Notification of Exceptional Absence". If a student is absent for more than 1/3 of the course without the above notification then no credit will be given.

テキスト

Cambridge Writing from Within Level 2, 2nd edition. Curtis Kelly & Arlen Gargagliano

参考図書

Will be assigned as needed

留意事項

Active Participation is essential

基礎科目 <コア・イングリッシュ>	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
TOEIC/TOEFL 2		13823	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
和泉 有香	必修	2	著書執筆、専門学校講師、企業派遣講師		

授業の到達目標

TOEIC (R) Listening & Reading Test スコア550点到達を目指す。そのために必要な英語力(特にTOEIC必須表現)の習得と問題への取り組み方、学習のコツを身につける。またTOEFL受験のための基礎英語力強化を目指す。このクラスではKAISEIパーソナリティのI(知性)を養う。

授業の概要

到達目標を目指し、必須語彙や文法事項を身につけていく。頻出文書ごとの語彙、言い回しに習熟し、TOEICテスト形式の問題演習を組み入れていく。また知識固定の一助とするため音読にも力を入れる。単語テストは基本的に毎回実施する。

授業計画

- 1 Unit 01 人物の動作表現/品詞・代名詞
- 2 Unit 02 疑問詞で始まる疑問文/態・分詞、単語テスト1
- 3 Unit 03 店・ホテルでの会話/読解の基礎を身につける、単語テスト2
- 4 Unit 04 留守番電話/詳細情報を特定する、単語テスト3
- 5 進捗調整、単語テスト4
- 6 Unit 05 物に関する描写/話の展開を読み取る、単語テスト5
- 7 Unit 06 Yes/No疑問文・選択疑問文/接続詞・前置詞、単語テスト6
- 8 Unit 07 日常生活における会話/内容把握に挑戦する、単語テスト7
- 9 Unit 08 アナウンス・宣伝/語彙問題・その他、単語テスト8
- 10 進捗調整、単語テスト9
- 11 Unit 09 ステートメント・付加疑問文/時制・代名詞・語彙、単語テスト10
- 12 Unit 10 オフィスでの会話①/マルチプルパッセージ(2つの文書)、単語テスト11
- 13 Unit 11 トーク(会議・イベント)/Part 5の復習、単語テスト12
- 14 Unit 12 オフィスでの会話②/つなぎ語・文選択、単語テスト13
- 15 復習、期末考査

授業の方法

問題演習や音読、その場での暗記などの「作業」が中心となる。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点50%、定期試験50%

欠席について

欠席1回につき、平常点と定期試験点より算出した評価点から2点減点する。

テキスト

Mastery Drills for the TOEIC L&R Test All in One Advanced (桐原書店)、TOEIC L&R TEST出る単特急 金のフレーズ (朝日新聞出版)

参考図書

授業時に必要に応じて紹介する。

留意事項

・ダウンロード音声も用いて確実に復習すること。・英和辞書(紙版、電子辞書いずれでも可)を必ず持参すること。

基幹科目〈英語・言語・文化〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
翻訳・通訳論入門			13301	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
榎本 雄三／和泉 有香	選択	2	榎本：テクニカルライター、実務翻訳者 和泉：劇団通訳、全国通訳案内士（英語）			

授業の到達目標

榎本：翻訳文作成技術と背景知識調査手法を習得する。このクラスではKAISEIパーソナリティーのI（知性）とIn（国際性）を目指す。
和泉：英語と日本語という構造の全く異なった2言語の中に共通点を見出し、特に英語知識の深化を図ることにより、文字と音声において2言語を自由に行き来する能力を身につける。また日本と日本文化への理解を深める。このクラスではKAISEIパーソナリティーのI（知性）とIn（国際性）の涵養を目指す。

授業の概要

榎本：従来の英文解釈と翻訳との違い、翻訳に必要な発想の転換を学ぶ。和泉：単なる「英文和訳」・「和文英訳」ではない通訳技術の基本と同時に、人前で話すための技術を身につける。

授業計画

- 1 榎本・和泉：ガイダンス、授業の概要
- 2 適語を見つける
- 3 訳出の順序
- 4 無生物主語
- 5 分詞構文
- 6 順送りの訳
- 7 さまざまな英文解釈
- 8 AI自動翻訳
- 9 大学生活
- 10 趣味(スポーツ、音楽、読書)
- 11 海外文化
- 12 国際交流(1) 実践演習1
- 13 国際交流(2) 実践演習2
- 14 日本の文化(和食、温泉、回転寿司)
- 15 総復習、期末考査

授業の方法

榎本（前半担当）：事前課題を課し、訳文作成と翻訳内容の検討を行う。和泉（後半担当）：大量の演習と暗唱が中心となる。なお授業計画については柔軟に対応する。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

榎本：定期試験を行わず、最終レポートおよび平常点により評価を行う。和泉：平常点50%、定期試験50%

欠席について

榎本：欠席した回数、その回の課題を提出すれば考慮する。和泉：欠席1回につき、平常点と定期試験点より算出した評価点から2点減点する。

テキスト

榎本：特定のテキストを使用せず、英字新聞、英文雑誌などの記事を教材にする。和泉：オリジナルプリント

参考図書

榎本：「赤毛のアン」をめぐる言葉の旅 上白石萌音・河野万里子著（NHK出版） 和泉：授業時に必要に応じて紹介する。

留意事項

榎本：授業計画の内容や順序は状況により変わることがある。和泉：英和辞書（紙版、電子版いずれでも可）を必ず持参すること。

基幹科目〈英語・言語・文化〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
英語学概論			13713	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
佐伯 瑠璃子	選択	2				

授業の到達目標

本講義は英語の成り立ちや英語の仕組みを幅広く理解することを目的とし、英語を科学的にひもといていく。KAISEIパーソナリティーのIn（国際性）を養うと同時に、より理解を深めるためのグループワークを通してK（思いやり）を学ぶ。

授業の概要

英語学の分野で取り扱われている研究領域全体を次の授業計画に従って概観する。英語が人と歩んできた歴史とその今、語や文の構造や仕組み、英語が伝える意味について講義をする。基本的に講義形式をとるが、より深い理解のため、様々な理論を踏まえながらグループワークやディスカッションを通して考える。

授業計画

- 1 オリエンテーション 授業の進め方や履修条件、言語学研究の概説を行います。
- 2 英語史(1) 英語の成り立ちから現在までの歴史を概観、古期英語
- 3 英語史(2) 中期英語・近代英語
- 4 世界の中の英語 世界で使用される英語、現在の国際共通語として使用されている英語
- 5 音韻論(1) 発音する際の身体の器官、英語の音の構造
- 6 音韻論(2) 英語の音の構造
- 7 形態論(1) 分野の概観
- 8 形態論(2) 語の内部構造、語形成のパターン
- 9 統語論(1) 分野の概観
- 10 統語論(2) 文構造とそのパターン
- 11 意味論(1) 分野の概観
- 12 意味論(2) 語の意味と文の意味の関連
- 13 語用論(1) 分野の概観
- 14 語用論(2) 言葉の意味と話し手の意図
- 15 振り返り

授業の方法

講義を聞き、学生間のコミュニケーションなどを通してワークシートを完成させる。自身の考えや調べたことを発表する。

準備学修

授業前にはテキストの指定された箇所を読み予習を行う。また、授業後にはハンドアウトで授業内容を復習した上で再度テキストを読み返し理解を深める。

課題・評価方法、その他

平常点50%、定期試験50%

欠席について

欠席1回につき出席点より4点減点する。遅刻・早退も減点対象。

テキスト

稲木昭子、堀田知子、沖田知子『新・えいご・エイゴ・英語学』（松柏社）
その他適宜プリントを配布

参考図書

影山太郎、日比谷潤子、プレント デ・シェン 著『First Steps in English Linguistics 英語言語学の第一歩』（くろしお出版）

留意事項

クラスへの積極的参加、予習・復習が求められる。

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

展開科目〈英語・言語・文化〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
TOEIC/TOEFL 3			13964	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
和泉 有香	選択	2	著書執筆、専門学校講師、企業派遣講師			

授業の到達目標

TOEIC (R) Listening & Reading Test スコア600点到達を目指す。そのために必要な英語力（特にTOEIC必須表現）の習得と問題への取り組み方、学習のコツを身につける。またTOEFL受験のための基礎英語力強化を目指す。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）を養う。

授業の概要

到達目標を目指し、必須語彙や文法事項を身につけていく。類出文書ごとの語彙、言い回しに習熟し、TOEICテスト形式の問題演習を組み入れていく。また知識固定の一助とするため音読にも力を入れる。単語テストは基本的に毎回実施する。

授業計画

- 1 ガイダンス、【TEST1 使用】Part 1 対策、Part 7（1つの文書）対策
- 2 Part 2 対策、Part 7（1つの文書）対策／単語テスト1
- 3 Part 2 対策、Part 5 対策／単語テスト2
- 4 Part 3 対策、Part 5 対策／単語テスト3
- 5 Part 3 対策、Part 7（複数文書）対策／単語テスト4
- 6 Part 4 対策、Part 6 対策／単語テスト5
- 7 Part 4 対策、Part 6 対策／単語テスト6
- 8 【TEST2 使用】Part 1 対策、Part 7（1つの文書）対策／単語テスト7
- 9 Part 2 対策、Part 7（1つの文書）対策／単語テスト8
- 10 Part 2 対策、Part 5 対策／単語テスト9
- 11 Part 3 対策、Part 5 対策／単語テスト10
- 12 Part 3 対策、Part 7（複数文書）対策／単語テスト11
- 13 Part 4 対策、Part 6 対策／単語テスト12
- 14 Part 4 対策、Part 6 対策／単語テスト13
- 15 Part 7（複数文書）対策、期末試験
- 16

授業の方法

問題演習や音読、その場での暗記などの「作業」が中心となる。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点50%、定期試験50%

欠席について

欠席1回につき、平常点と定期試験点より算出した評価点から2点減点する。

テキスト

公式TOEIC (R) Listening & Reading問題集9 (IIBC)

参考図書

授業時に必要に応じて紹介する。

留意事項

・テキスト付属CDも用いて確実に復習すること。・英和辞書（紙版、電子辞書いずれでも可）を必ず持参すること。

展開科目〈英語・言語・文化〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
TOEIC/TOEFL 4			13966	Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
和泉 有香	選択	2	著書執筆、専門学校講師、企業派遣講師			

授業の到達目標

TOEIC (R) Listening & Reading Test スコア650点到達を目指す。そのために必要な英語力（特にTOEIC必須表現）の習得と問題への取り組み方、学習のコツを身につける。またTOEFL受験のための基礎英語力強化を目指す。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）を養う。

授業の概要

到達目標を目指し、必須語彙や文法事項を身につけていく。類出文書ごとの語彙、言い回しに習熟し、TOEICテスト形式の問題演習を組み入れていく。また知識固定の一助とするため音読にも力を入れる。単語テストは基本的に毎回実施する。

授業計画

- 1 ガイダンス、【TEST1 使用】Part 1 対策、Part 7（1つの文書）対策
- 2 Part 2 対策、Part 7（1つの文書）対策／単語テスト1
- 3 Part 2 対策、Part 5 対策／単語テスト2
- 4 Part 3 対策、Part 5 対策／単語テスト3
- 5 Part 3 対策、Part 7（複数文書）対策／単語テスト4
- 6 Part 4 対策、Part 6 対策／単語テスト5
- 7 Part 4 対策、Part 6 対策／単語テスト6
- 8 【TEST2 使用】Part 1 対策、Part 7（1つの文書）対策／単語テスト7
- 9 Part 2 対策、Part 7（1つの文書）対策／単語テスト8
- 10 Part 2 対策、Part 5 対策／単語テスト9
- 11 Part 3 対策、Part 5 対策／単語テスト10
- 12 Part 3 対策、Part 7（複数文書）対策／単語テスト11
- 13 Part 4 対策、Part 6 対策／単語テスト12
- 14 Part 4 対策、Part 6 対策／単語テスト13
- 15 Part 7（複数文書）対策、期末試験
- 16

授業の方法

問題演習や音読、その場での暗記などの「作業」が中心となる。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点50%、定期試験50%

欠席について

欠席1回につき、平常点と定期試験点より算出した評価点から2点減点する。

テキスト

公式TOEIC (R) Listening & Reading問題集10 (IIBC)

参考図書

授業時に必要に応じて紹介する。

留意事項

・テキスト付属CDも用いて確実に復習すること。・英和辞書（紙版、電子辞書いずれでも可）を必ず持参すること。